

<府中第六小学校は、今年度創立70周年をお祝いしました>



府六だより

府中市立府中第六小学校
年度末号
令和8年3月24日
(児童数 686名)
校長 小林 邦子

感謝・新しい出会いに向けて

校長 小林 邦子

例年より早い桜の開花に、春を迎えた喜びを感じます。令和7年度の教育活動が終了し、いよいよ進級・進学のとぎが来ました。各学年で年度末のまとめの活動を行ってきましたが、その一つとして、6年生は多目的室にある和室を初めて使って、茶道の学習を行いました。講師の物部先生と淡野先生からお茶の歴史や作法を教えていただき、自分たちもお茶を点ててお菓子と共にいただくのです。



一クラスごとに、和室のお茶席に参加します。先生がお道具を帛紗(ふくさ)で清める所作、湯を釜から柄杓(ひしゃく)で汲み茶碗に注ぐ所作など、一つ一つが丁寧で、茶筌(ちやせん)でお茶を点てる音が心地よく響きます。心を込めて点ててくださったお茶は、実においしく、お茶の香りが体いっぱい広がるようでした。旧校舎では府中第五中学校の茶室をお借りし、プレハブ校舎では家庭科室で茶道の学習を行ってきたと聞きます。新しい六小の和室の床の間には、スズランの花が生けられ、子供たちがお茶の時間を楽しく過ごせるように、さまざまな支度を整えてくださった先生方のおもてなしの心をしみじみと感じました。

茶道を広めた千利休の言葉に、「一期一会」(いちごいちえ)という言葉があります。たとえ同じ人とまたお茶を飲むことがあっても、その日と同じときは二度とありません。だからこそ、目の前の出会いを大切にしようというものです。学級じまいのときを迎え、お楽しみ会を行う学級、自分たちの成長を作文やスピーチで振り返る学級、進級する学年から学習や生活について発表を聞く学級など、どの学級もそれぞれに大切な時間を過ごしました。1年間を振り返ると、楽しかったこともそうでなかったこともいろいろなことがあったと思いますが、子供たちが新たな出会いの場でよりよく自分を発揮できるよう、教職員も心一つに子供たちを支え、教育活動の充実に努めてまいります。

卒業式のリハーサルには5年生も参加し、6年生の入退場で「威風堂々」の演奏を聞かせてくれたほか、サプライズで感謝の言葉と歌のプレゼントを行い、温かい気持ちが伝わってきました。小学校生活でのかけがえのない思いを胸に、6年生は明日の卒業式で、立派に本校を巣立ってくれることでしょう。

保護者・地域の皆様には、子供たちの成長のため今年度も多くのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。卒業や進級後もよき出会いと子供たちが自分らしく活躍してくれることを願っています。元気な顔で新年度を迎えられるよう、ご家庭でも進級への準備を整え、楽しい春休みをお過ごしください。

